

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人
大山町社会福祉協議会

法人運営・地域福祉事業

1. 社会福祉協議会組織の運営

(1) 会議の開催

① 理事会の開催

【第1回理事会】

期日・会場	令和4年6月2日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事7名・監事2名
議案	第1号議案 令和3年度第3次補正予算(案)について 第2号議案 令和3年度事業報告及び決算(案)について 第3号議案 大山町社会福祉協議会表彰規程一部改正(案)について 第4号議案 令和4年度大山町社会福祉協議会会長表彰について 第5号議案 役員等賠償補償について 第6号議案 評議員選任・解任委員の選任について 第7号議案 令和4年度第1回評議員会(定時評議員会)の開催について
審議の結果	第1号～第7号議案原案どおり決議

【第2回理事会】

期日・会場	令和4年9月12日(月)保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事7名・監事2名
議案	第1号議案 令和4年度第1次補正予算(案)について 第2号議案 育児・介護休業、育児・介護短時間勤務等に関する規程一部改正(案)について 第3号議案 通所介護だいせん運営規程一部改正(案)について 第4号議案 介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業だいせん運営規程一部改正(案)について 第5号議案 令和4年度第2回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第5号議案原案どおり決議

【第3回理事会】

期日・会場	決議の省略(書面決議)の方法により行なう(通知日:令和4年12月7日)
構成人数	理事7名・監事2名
議案	第1号議案 令和4年度第2次補正予算について 第2号議案 給与規程一部改正について 第3号議案 介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業ほほえみ運営規程一部改正について 第4号議案 令和4年度第3回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第4号議案原案どおり決議

【第4回理事会】

期日・会場	令和5年3月16日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事7名・監事2名
議案	第1号議案 令和4年度第3次補正予算について 第2号議案 令和5年度事業計画について 第3号議案 令和5年度予算について 第4号議案 就業規則一部改正について 第5号議案 臨時職員就業規程一部改正について 第6号議案 役員等賠償補償について 第7号議案 令和4年度第4回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第7号議案原案どおり決議

②評議員会の開催

【第1回評議員会(定時評議員会)】

期日・会場	令和4年6月23日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員10名・理事2名・監事2名
議案	第1号議案 令和3年度第3次補正予算(案)について 第2号議案 令和3年度事業報告及び決算(案)について 第3号議案 役員等賠償補償について
審議の結果	第1号～第3号議案原案どおり決議

【第2回評議員会】

期日・会場	令和4年9月22日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員12名・理事2名・監事2名
議案	第1号議案 令和4年度第1次補正予算(案)について 第2号議案 育児・介護休業、育児・介護短時間勤務等に関する規程一部改正(案)について 第3号議案 通所介護だいせん運営規程一部改正(案)について 第4号議案 介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業だいせん運営規程一部改正(案)について
審議の結果	第1号～第4号議案原案どおり決議

【第3回評議員会】

期日・会場	令和4年12月22日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員12名・理事2名・監事2名
議案	第1号議案 令和4年度第2次補正予算について 第2号議案 給与規程一部改正について
審議の結果	第1号～第2号議案原案どおり決議

【第4回評議員会】

期日・会場	令和5年3月29日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員12名・理事2名・監事2名
議案	第1号議案 令和4年度第3次補正予算について 第2号議案 令和5年度事業計画について 第3号議案 令和5年度予算について 第4号議案 就業規則一部改正について 第5号議案 臨時職員就業規程一部改正について 第6号議案 役員等賠償補償について
審議の結果	第1号～第6号議案原案どおり決議

③監査会の開催

【令和3年度決算監査会】

期日・会場	令和4年5月23日(月)保健福祉センターだいせん
出席の状況	監事2名・理事1名
監査事項	1. 令和3年度大山町社会福祉協議会業務の執行状況 2. 令和3年度大山町社会福祉協議会会計決算の状況 3. 令和3年度大山町社会福祉協議会資産の状況

【令和4年度中間監査会】

期日・会場	令和4年11月17日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	監事2名
監査事項	令和4年度上半期事業報告及び予算執行状況について

④役員研修等の参加・実施

【地域福祉県民講座「第44回緑陰大学」】

期日・会場	令和4年6月21日(火)ハワイアロハホール
出席の状況	役職員8名
内容	(講演1)「人生100年時代の高齢者の自立と生きがいづくり」 講師:東京大学高齢社会総合研究機構 辻 哲夫 氏 (講演2)「地域の絆、みんなの笑顔」 講師:こころ元気研究所所長 鎌田 敏 氏

【市町村社会福祉協議会役員セミナー】

期日・会場	令和5年2月14日(火)県立福祉人材研修センター
出席の状況	役職員7名
内容	(講演) 「つながりあうか～公民協働で地域共生社会をつくる～」 講師:津田塾大学 客員教授 村木 厚子 氏

(2) 法人の運営管理

【運営会議】

回数	期日	内容
第1回	令和4年4月8日(金)	新型コロナウイルス感染症に関する対応について ほか
第2回	令和4年5月27日(金)	令和3年度決算について ほか
第3回	令和4年6月28日(火)	第1回理事会及び定時評議員会報告について ほか
第4回	令和4年8月26日(金)	介護課関連事業収益増に向けた取り組みについて ほか
第5回	令和4年9月30日(金)	第2回理事会及び評議員会報告について ほか
第6回	令和4年10月27日(木)	介護事業所の現状報告 ほか
第7回	令和4年11月30日(水)	新型コロナウイルス対応について ほか
第8回	令和4年12月26日(月)	理事会並びに評議員会報告 ほか
第9回	令和5年1月27日(金)	介護課事業所課題、取り組みについて ほか
第10回	令和5年2月28日(火)	大山町社協理念の共有について ほか
第11回	令和5年3月14日(火)	第4回理事会について ほか
第12回	令和5年3月28日(火)	令和5年度職員研修計画について ほか

【衛生委員会】

回数	期日・会場	協議内容
第1回	令和4年6月24日(金) 保健福祉センターだいせん	令和4年度衛生委員会関連事業について
第2回	令和4年8月26日(金) 保健福祉センターだいせん	新型コロナウイルス感染関連報告について
第3回	令和4年10月28日(金) 保健福祉センターだいせん	大山支所職場巡視 ほか
第4回	令和5年3月2日(金) 福祉センターなかやま	中山支所職場巡視 ほか

(3) 社協会費納入状況

種別	件数		金額(円)	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
普通会費	4,404	4,314	4,358,300	4,314,000
賛助会費	45	29	92,000	66,000
特別会費	43	36	240,000	210,000
合計	4,492	4,379	4,690,300	4,590,000
考察・評価	今年度はコロナ感染拡大により、役職員による訪問での依頼が出来ず、賛助、特別の新規会員の獲得が出来ていない。普通会費についても近年減少傾向。			

(4) 香典返し等寄付金状況

種別	件数		金額(円)	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
香典返し	168	166	3,586,000	2,778,000
見舞い返し	0	1	0	5,000
一般寄附	3	5	24,800	408,000
その他(物品)	1	3	4,000	5,000
合計	172	175	3,614,800	3,196,000
考察・評価	昨年と比較すると若干減少傾向。			

(5) 広報・啓発活動の充実

【広報誌「ほほえみ」の発行】

号数	発行月	主な内容
89号	令和4年7月	共同募金配分金事業、新年度の挨拶、各事業所職員紹介、令和4年度大山町社会福祉協議会事業計画、令和4年度事業収支予算書、一步一步事業紹介、大雀海岸清掃、人事異動・新規職員・退職者のお知らせ 他
90号	令和4年10月	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金、令和4年度大山町社会福祉協議会会長表彰、令和3年度事業報告・決算、地域座談会、ふれあい・いきいきサロン推進、レクリエーション紹介、各種募集(地域で学防災、介護教室)、ボランティア登録 他
91号	令和5年1月	集落レストラン・新年のご挨拶、福祉教育、大山町共同募金会(共同募金配分金活用助成事業)、事業報告(地域で学防災、災害ボランティアセンター運営者養成研修、家族介護者交流事業)、通所介護だいせん紹介、各種募集(託児ボランティア研修会、男の料理塾、企業向け手話教室、ボランティア登録)他
考察・評価		今年度より、年4回(4、7、10、1月)の発行とするも、4月発行分については令和4年3月に発行していたため作成をせず、計3回の発行となった。昨年度より発行回数が少なくなったこともあり、記事の内容も多く、90号以降は8ページで作成。町内の特別会員への配布については、訪問による手配りで行った。

【ホームページの運営】

考察・評価	<p>社協ホームページは随時更新し、広報活動や新型コロナウイルス特例貸付の案内など情報発信に努めている。</p> <p>令和5年1月にリニューアルを行い、ホームページのトップにイベント情報や特別会員紹介、インスタグラムバナーの追加し、見やすくわかりやすいホームページとなった。特別会員ページは、現在作成中のため更新できていないため、早い段階での編集が必要である。</p>
-------	---

【SNS (Facebook) 等の運営】

考察・評価	<p>通所介護ほほえみ、通所介護だいせん、福祉総務課が毎週記事を持ち回りで更新している。社協の事業の紹介や日頃の様子、福祉に関するお役立ち情報等を掲載しており、地域住民などより「いいね」をいただいている。</p> <p>若い世代へのアプローチとして、令和4年9月よりInstagramを開始。日常の一角に焦点を当て、上記3事業所で随時更新している。Facebookとは違い、ハッシュタグをつけることで検索の幅も広がり、日本中の幅広い分野の方から沢山の「いいね」をいただくことが出来ている。</p> <p>今後も、SNSの運用は継続していき、社協の情報を広範囲へ発信していく。</p>
-------	---

(6) 生計困難者に対する相談支援事業(えんくり事業)

支援人数	2名	延べ支援回数	3回	支援内容	ガソリン/食材/電気料金
考察・評価	<p>既存の制度の対象とならない事案や、食料やライフラインの確保など緊急的な支援を要する事案に対応すべく、鳥取県社会福祉協議会を基幹とした県内社会福祉法人共同の支援事業を実施している。</p> <p>【支援1】初任給までのガソリンおよび食材の購入</p> <p>【支援2】滞納により通電停止となった子育て世帯への電気代支給(2回)</p>				

2. 生活支援体制整備事業

(1) 地域福祉座談会の開催

考察・評価	令和4年度は計20集落を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止希望が相次ぎ、4集落のみの開催となった。		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の事業紹介(地域福祉活動の説明) ・地域支え愛活動の紹介(DVD 視聴) ・支え愛マップの説明 		
開催集落数	4集落		
参加人数計	29名		
【開催集落】			
集落名	日程	会場	参加人数
富長東	令和4年7月15日	富長東研修集会所	7名
中尾	令和4年9月15日	中尾多目的集会所	6名
内蔵	令和5年2月17日	田中多目的研修施設	13名
古御堂	令和5年3月10日	古文原ふるさと会館	3名

(2) 生活支援コーディネーター活動状況

期日・会場	協議内容	参加者数
4月18日(月) 大山町役場本庁	【地域自主組織定例ミーティング】 ・地域コミュニティケア説明 ・暮らしの保健室活動報告 ・各地区の活動報告および情報共有	14名
5月16日(月) 名和公民館	【地域自主組織定例ミーティング】 ・各関係機関の関連事業説明 ・各地区の活動報告および情報共有	17名
6月14日(火) 保健福祉センターなわ	【打ち合わせ】 ・コミュニティウェルビーイング事業説明 ・ウェルビーイング推進会議について	3名
6月20日(月) 大山町役場本庁	【地域自主組織定例ミーティング】 ・コミュニティウェルビーイング事業説明 ・各地区の活動報告および情報共有	19名
7月1日(金) 大山公民館	【ウェルビーイング推進会議】 ・事業の概要説明 ・暮らしの保健室およびおせっかい人育成講座について ・事例検討 ・大山健康フェスタについて 他	30名
8月8日(月) 大山公民館	【ウェルビーイング推進会議】 ・暮らしの保健室およびおせっかい人育成講座について ・事例検討 ・大山健康フェスタについて 他	25名
9月1日(木) オンライン開催	【地域ケア推進会議】 ・各関係機関の活動状況報告 ・ごみ出し困難者に対する個別収集事業について	13名
9月9日(金) 大山町役場大山支所	【ウェルビーイング推進会議】 ・暮らしの保健室について ・オンライン健康相談のトライアル実施について ・事例検討 ・大山健康フェスタについて 他	26名
10月11日(火) 大山町役場大山支所	【ウェルビーイング推進会議】 ・地域に広がる支え合い健康づくり事業中間報告 ・暮らしの保健室およびおせっかい人育成講座について ・大山健康フェスタについて 他	27名
11月7日(月) 大山町役場大山支所	【ウェルビーイング推進会議】 ・大山健康フェスタ開催報告 ・暮らしの保健室開催状況について ・事例検討 ・おせっかい人との意見交換 他	25名
12月12日(月) 大山町役場大山支所	【ウェルビーイング推進会議】 ・暮らしの保健室開催状況について ・事例検討 ・おせっかい人との意見交換 他	25名

1月20日(金) 大山町役場大山支所	【ウェルビーイング推進会議】 ・暮らしの保健室開催状況について ・事例検討 ・おせっかい人との意見交換 ・活動認知度向上のための広報について ・社会的処方箋の様式について 他	25名
2月13日(月) 大山町役場大山支所	【ウェルビーイング推進会議】 ・暮らしの保健室開催状況について ・事例検討 ・住民アンケート結果の概要報告	20名
2月16日(木) オンライン開催	【地域ケア推進会議】 ・日ごろの業務からみえてきた地域の課題について ・大山町地域包括ケアシステム(案)について	13名
2月20日(月) 大山町役場本庁	【地域自主組織定例ミーティング】 ・各機関の活動実績報告	18名
3月13日(月) 大山町役場大山支所	【ウェルビーイング推進会議】 ・地域に広がる支え合い健康づくり事業実績報告 ・次年度に向けての課題等について	24名
考察・評価	地域の福祉活動推進と生活課題の解決を目的として、行政担当課および地域自主組織などの関係機関と定期的に協議した。ウェルビーイング推進会議では、地域の医療関係者やおせっかい人など様々な職種が参加して、支え合いや健康づくりについての情報交換をおこなった。	

(3) 有償ボランティア「ささえあいたい」利用等状況

	中山地区		名和地区		大山地区		合計	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
延べ利用件数(件)	0	0	51	48	3	10	54	58
実利用件数(件)	0	0	2	1	1	3	3	4
依頼会員数(名)	0	0	4	4	5	6	9	10
援助会員数(名)	1	1	5	5	3	3	9	9
考察・評価	依頼会員1名増。定期的に敷地内の草刈りを依頼されている。援助会員は増減なし。その他の依頼内容としては、前年度同様ゴミ出しの希望が大半を占めた。マンツーマン支援のため依頼者と援助者の信頼関係は構築されており、支払いのトラブルなどは発生していない。							

(4) 地域活動車「つなGo(ごう)カー」貸出事業

考察・評価	3件の利用相談あり。利用希望日が平日以外であったこと、買物やサロン活動を伴わない行楽のみの目的であったことから、いずれも要件に該当せず利用には至らなかった。
-------	--

3. さわやか福祉基金事業

(1) 地域福祉に関する調査活動

訪問件数	令和3年度	令和4年度
	60件	59件
考察・評価	<p>過去に防災グッズを配布した世帯をリスト化し、その非常食交換を兼ねて登録者の自宅を訪問。生活課題および地域福祉活動への要望などを聞き取りした。そのうち、介護保険サービスや生活保護など公的な支援を受けていない高齢者世帯については、見守りと生活状況把握のため個別に定期訪問している。令和4年度末時点でのリスト登録者数は444名、そのうち22名が定期訪問の対象となっている。</p>	

(2) 地域福祉推進研修会の開催

【第1回地域福祉推進研修会】

期日・会場	令和4年7月30日(金) 中山温泉生活想像館わくわくホール
内容	資料配布 ・「週刊マンガつながる通信」1号 2号 10号 11号 16号 24号
配布先	福祉推進員(165名)
考察・評価	福祉功労者表彰式(大山町社会福祉協議会長表彰)と併せて開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。開催時の講演会の講師として依頼していた酒井保氏のネット上で閲覧できる「週刊マンガつながる通信」を代替の資料とし配布した。

【第2回地域福祉推進研修会】

期日・会場	令和5年2月11日(土) 福祉センターなかやま・保健福祉センターだいせん
内容	事務局説明 大山町社会福祉協議会事業説明 講演 「住み良い町をつくるために」 講師 日野ボランティアネットワーク 森本 智喜氏
参加者数	87名
考察・評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前と午後に分けて2ヶ所で開催。民生児童委員、福祉推進員に案内し、集合形式で開催した。事業説明では、パンフレット「福祉推進員の手引き」で説明、大山チャンネルで紹介のあった集落レストランをDVDで視聴を行った。</p> <p>講演会では、震災での体験談をもとに、地域のつながりの大切さを改めて学んだ。集合形式で行うことで、より一層理解を深めることができた。</p>

(3) 地域見守り事業

「集落レストラン」実施状況

開催日	開催地区	参加者数	考察・評価
令和4年7月4日	国信	23名	昨年度より開催集落が1集落増え、どちらも定期開催を計画しておられる。 今年度は2集落に留まったが大山チャンネルからの取材を受け、テレビ放映や2月の地域福祉推進研修会での広報の効果もあり、年度末には開催に向けて問い合わせも多かった。来年度からの開催集落が増える事が予想される。
令和4年7月14日	八重	13名	
令和4年9月6日	国信	23名	
令和4年10月21日	八重	14名	
令和4年11月7日	国信	37名	
令和4年12月16日	八重	16名	
令和5年1月23日	国信	31名	
令和5年3月26日	八重	13名	
令和5年3月27日	国信	29名	

(4) ボランティア活動の推進

① ボランティアに関する相談・登録・斡旋状況

	令和3年度	令和4年度
ボランティア登録者数	150名	66名
依頼件数	31件	38件
斡旋件数	24件	31件
延べ派遣人数	117名	112名

② ボランティア派遣状況

期日	事業名	依頼者	活動場所	内容	人数
4月14日	春の名和公園を歩こう	名和小学校	名和公園	見守り	中止
5月12日 5月26日 6月9日 6月23日 7月7日	ハッピー子育てプログラム	大山町役場 こども課	保健福祉センター なわ	託児	中止
5月18日 7月6日 9月13日 11月15日 1月13日 3月15日	離乳食講習会	大山町役場 こども課	保健福祉センター なわ	託児	7人 中止 2人 4人 4人 3人
5月31日	ファミリーサポートセンター交流会	大山町ファミリーサポートセンター	ふれあい会館	託児	1人
6月9日	マラソン大会	名和小学校	名和小学校	見守り	6人
6月15日 12月16日	幼児食講習会	大山町役場 こども課	保健福祉センター なわ	託児	5人 5人
7月8日	ししゅう講座	子育て支援センター だいせん	子育て支援センター だいせん	託児	中止
7月17日	全日本トライアスロン皆生大会	観光課	大山町内	見守り	4人
7月12日	ファミリーサポートセンター交流会	大山町ファミリーサポートセンター	ふれあい会館	託児	中止

7月21日	産後ケアの会	子育て支援センター なかやま	子育て支援センター なかやま	託児	中止
7月31日	甲川溪流まつり	中山まちづくり 実行委員会	甲川溪流まつり会場	調理	中止
9月15日 9月30日 10月13日 11月2日 11月17日 2月6日	ペアレントサポート プログラム	大山町役場 こども課	子育て支援センター なわ	託児	4人 2人 3人 3人 3人 3人
9月21日	ファミリーサポート センター交流会	大山町ファミリー サポートセンター	ふれあい会館	託児	2人
10月27日	マラソン大会	名和小学校	名和小学校	見守り	6人
11月2日	高齢者疑似体験 車椅子体験	大山町社会福祉 協議会	大山西小学校	福祉 教育	2人
11月7日 11月10日 11月15日	まちたんけん	名和小学校	名和小学校	見守り	5人 7人 7人
11月10日	高齢者疑似体験	大山町社会福祉 協議会	大山西小学校	福祉 教育	2人
11月18日	車椅子体験	大山町社会福祉 協議会	中山小学校	福祉 教育	2人
11月29日	ファミリーサポート センター交流会	大山町ファミリー サポートセンター	ふれあい会館	託児	2人
12月7日	車椅子体験	大山町社会福祉 協議会	中山小学校	福祉 教育	2人
12月7日	産後ケアの会	子育て支援センター なかやま	ふれあい会館	託児	3人
12月8日	車椅子体験	大山町社会福祉 協議会	名和小学校	福祉 教育	2人
12月14日	健康診査	大山町役場 健康対策課	保健福祉センター だいせん	託児	2人
3月6日	男の料理塾	大山町社会福祉 協議会	保健福祉センター だいせん	調理	4人
3月7日	ファミリーサポート センター交流会	大山町ファミリー サポートセンター	ふれあい会館	託児	3人

③ボランティア活動啓発・育成事業

事業名	クリーン作戦(町内清掃活動)
考察・評価	7月31日(日)、「クリーン作戦～大雀海岸清掃～」を企画するも、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、社協の参加は見合わせた。

事業名	地域で学防災
期日・会場	令和4年11月5日(土) 保健福祉センターだいせん
参加者数	13名
考察・評価	日野ボランティアネットワーク山下弘彦氏を講師に、「災害が起こること～災害が起こっても、地域の誰もが助かり立ち直れるよう、みんなで備える～」と題しお話いただいた。災害の基礎知識や日頃の備えについて、実際の災害現場を基に説明して下さることで、イメージがしやすくわかりやすい研修会であった。

事業名	災害ボランティアセンター運営者養成研修
期日・会場	令和4年12月9日(土) 保健福祉センターだいせん
参加者数	10名
考察・評価	一般社団ピースボート災害支援センター関根正孝氏をオンラインでお繋ぎし、災害ボランティアセンターを運営する上での役割や機能、留意点についてお話しいただいた。参加者は、災害救援ボランティア登録者や「地域で学防災」の参加者に声かけを行ったが、参加者が少なく災害ボランティアセンター運営側として、人員の確保が課題となった。次年度以降、災害ボランティアセンター運営実施訓練を計画しており、いつ起きても迅速に対応できるように訓練を行いながら、運営側協力者の確保に努めていく。

事業名	託児ボランティア研修会
期日・会場	令和5年2月9日(土) 福祉センターなかやま
参加者数	9名
考察・評価	子育て支援アドバイザー松本寿栄子氏を講師に、「今が大切 子どものかかわり～乳幼児の子育てが未来を拓く～」と題し、お話しいただいた。研修広報は、広報誌で行ったが参加応募が少なく、託児ボランティア登録者へ連絡し参加者を募る。研修後、参加者より2名の託児ボランティアへの登録があった。

事業名	男の料理塾
期日・会場	令和5年3月6日(月) 保健福祉センターだいせん
参加者数	14名
考察・評価	調理ボランティアグループの方のご指導のもと「ちらし寿司」と「高野豆腐の煮物」を調理。参加者は広報誌で募集するも2名のみの応募で、平成31年度の参加者に連絡し、計14名の参加となった。参加者同士で協力して調理やお話をされており、とても賑やかな会となった。また、調理ボランティアの活動の場が提供できたため、次年度以降は、年間4回の開催を計画。

事業名	企業向け手話教室
期日・会場	令和5年3月18日(火) ホテル大山しろがね
参加者数	10名
考察・評価	聴覚障害者の方がホテルを利用された時、接客時必要な手話技術を学ばれた。次年度以降も、継続的に手話教室を実施されるとのこと。年1回までは、開催費用を負担することとなり、今後も各企業より応募を募る。

(5) 福祉教育の推進

【福祉教育推進校助成】

町内小学校4校、中学校3校に合計350,000円助成

【福祉教育推進校連絡会】

期日・会場	令和4年6月22日(水) 保健福祉センターなわ
内容	・令和4年度福祉推進校事業計画について ・令和5年度以降の福祉教育助成金について ・令和5年度以降のエコキャップ運動について
参加者数	7名(町内小中学校福祉教育担当教職員)

【夏休みチャレンジスクール】

7月28日(木)、船上山自然の家で、パラリンピック正式種目である「ボッチャ&クラフト体験」を企画するも、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とした。

【高齢者疑似体験学習・車椅子体験学習】

期日	内容	会場	参加者数
11月2日	車椅子体験学習・高齢者疑似体験学習	大山西小学校	4年生 29名
11月10日	高齢者疑似体験学習	大山西小学校	3年生 38名
11月18日	高齢者疑似体験学習	中山小学校	4年生 21名
12月7日	車椅子体験学習	中山小学校	4年生 21名
12月8日	車椅子体験学習	名和小学校	4年生 47名
考察・評価	<p>令和3年度より高齢者疑似体験の内容を変更しており、今年度もグループの1人に疑似体験グッズを装着し他生徒は気づきを得る学習とした。車椅子体験は、全生徒に段差やスロープなどのコースを設定し、乗る側と介助する側を体験してもらう。実際に体験や周りから見ることで、生活の不自由さを感じるとともにどのようにしたらよいのかを考える良い時間となった。</p> <p>また大山西小学校では、ユニバーサルデザインについての講義依頼があり実施した。今後は、車椅子体験や高齢者疑似体験以外にも、新たな福祉教育指導についても柔軟に対応していく必要があるとともに、町内全小学校で福祉教育を学ぶ機会を作っていくため、広報していく必要がある。</p>		

(6) 令和4年度大山町福祉大会(福祉功労者表彰式)の開催

期日・会場	令和4年7月30日(金) なかやま温泉生活想像館わくわくホール
内容	福祉功労者表彰式(大山町社会福祉協議会長表彰) 講演「コロナ禍でのつながりを絶やさないご近所づくり」 講師:酒井 保 氏
被表彰者	17名
考察・評価	今年度は地域福祉推進研修会と併せての開催で計画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止。

4. ふれあいのまちづくり事業

(1) 心配ごと相談

開設日	毎月第2水曜日 午前9時30分～12時
相談員	民生児童委員
会場	保健福祉センターだいせん
相談件数	8件(令和3年度 5件)
考察・評価	<p>今年度よりセンターだいせんを会場に開催。相談件数は前年とほぼ変わらず、毎月0件～2件で推移しているが、長期的にみると緩やかな減少傾向となっている。</p> <p>今年度より、それぞれの相談内容については、相談者のプライバシーと関係者の個人情報に大きく関与するため、担当した相談員がその相談内容により、社会福祉協議会または行政などの関係機関につなぐ必要があると判断した場合においては、相談者に情報共有に係る同意書の記入をしてもらい、同意を得た上で相談内容を各関係機関と共有し、心配ごと相談をより一層解決できるようにした。</p>

(2) 法律相談

開設日	毎月第4水曜日 午前9時30分～11時30分
相談員	弁護士
会場	保健福祉センターだいせん
相談件数	33件(令和3年度 29件)
考察・評価	<p>令和4年度の相談件数は33件であり、前年と比較すると微増している。相談員は例年通り大山町内在住の弁護士にお願いしていたが、10月に体調を崩され相談員を辞退されたため、11月以降は鳥取県弁護士会西部地区の弁護士に相談員を受け持ってもらっている。今年度より1人当たりの相談時間を30分とした。その代わり予約枠は1枠減ったが、相談時間の確保はできた為、以前あったような相談時間が少ないという苦情は無くなった。</p>

5. 日常生活自立支援事業

	中山地区		名和地区		大山地区		合計	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
利用件数	1	0	4	3	2	1	7	4
相談件数	0	0	6	4	1	2	7	6
終了件数	1	0	1	0	1	0	3	0
支援員(人)	0	0	3	3	2	2	5	5
利用延回数	5	0	29	27	12	5	46	32
利用者の内訳	高齢者4件							
相談件数内訳	高齢者5件 知的障がい者1件							
終了件数内訳	なし							
考察・評価	<p>相談件数の内訳で、高齢者に関する相談は、昨年度に比べるとやや減っている。知的障がい者に関する相談は、増減なし。いずれも関係機関からの相談である。相談内容は、日常的な金銭管理に関する相談と生活に必要な事務手続きに関する問い合わせとなっている。</p>							

6. 生活福祉資金貸付事業利用状況

令和4年度		令和3年度（増減）		
新規相談件数		22	38	-16
新規貸付人数		13	26	-13
貸付延件数		20	81	-61
貸付内訳	緊急小口資金	1	0	1
	総合支援資金	0	0	0
	特例緊急小口資金	8	20	-12
	特例総合支援資金	11	30	-19
	特例総合支援資金（延長）	0	7	-7
	特例総合支援資金（再貸付）	0	24	-24
	その他	1	0	1
考察・評価	<p>新型コロナウイルス特例貸付は9月末をもって終了。8月には駆け込み需要と思われる申請があったが、全般的には前年度と比較して減少傾向となった。12月には大学進学が決まった里子を預かる里親から、緊急の就学費用貸付相談あり。県社協との連携により、指定日までに入学費用の入金を完了することができた。</p>			

7. 共同募金配分金事業

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金活動実績

種別	令和3年度実績（円）	令和4年度実績（円）
赤い羽根共同募金	1,577,411	1,508,914
歳末たすけあい募金	1,422,540	1,347,678
合計	2,999,951	2,856,592
考察・評価	<p>年々、募金実績が減少している。戸別募金が特に減少。コロナウイルス感染の影響で所得減少も考えられるため強制感がないよう、広報は続けていく。</p>	

(2) 共同募金配分金活用助成事業

団体及び集落名	内容	
中尾集落	事業名	座椅子設置
	内容	現在公民館活動は畳の上で実施しており、高齢化集落では活動に限界がある。よって座椅子を設置し活動をスムーズにすることを目的に申請。
	購入品	座椅子40脚
大山口列車空襲被災者の会	事業名	パソコン導入及び学習支援
	内容	大山口列車空襲を題材とした学習教育・社会教育での平和学習の教材について、映像・音声を安定的に出力するためのノートパソコンを購入。
	購入品	ノートパソコン1台

蔵岡自治会	事業名	座椅子設置
	内容	自治会の集会、ミーティング等は畳の上で実施している。座椅子を設置し高齢者でも参加しやすい環境を整備することを目的に申請。
	購入品	座椅子8脚
考察・評価	昨年度はコロナウイルスの影響もあり、1団体のみ助成であったが、4年度は3団体と若干増加。	

(3) 赤い羽根タクシー券配布事業

実施期間	令和4年7月4日(月)～令和5年3月17日(金)
対象世帯	○75歳以上の一人暮らし高齢者または高齢者世帯等(夫婦) ○運転免許証を保持していない方(配偶者が免許を保持していれば対象外)
配布世帯	177世帯(令和3年度 180世帯)
考察・評価	高齢者世帯等の交通に関するニーズは非常に多い。今年度は試験的にチケット数を2枚増やし総数12枚綴りでの事業運用を行っている。昨年度よりも枚数を増加した結果、利用回数・費用ともに増加した。これらを踏まえて、来年度は予算の拡充と枚数の増加をする方向で検討していきたい。

(4) 布団クリーニング事業(歳末たすけあい募金配分金事業)

実施期間	令和4年11月
対象世帯	○75歳以上の一人暮らし高齢者または高齢者世帯等(夫婦) ○運転免許証を保持していない方(配偶者が免許を保持していれば対象外)
実施世帯	46世帯(令和3年度 70世帯)
考察・評価	今年度より運転免許証を保持していない方を該当条件に追加したため、対象者の数は昨年に比べると減少した。

(5) 防災グッズ配布事業

実施期間	令和5年3月
対象世帯	○75歳以上の一人暮らし高齢者または高齢者世帯等(夫婦) ○運転免許証を保持していない方(配偶者が免許を保持していれば対象外)
配布世帯	19世帯(令和3年度 43世帯)
考察・評価	今年度より運転免許証を保持していない方を該当条件に追加したため、対象者の数は昨年に比べると減少した。

8. 生きがい活動支援地域型事業(ふれあい・いきいきサロン活動)

(1) ふれあい・いきいきサロン活動の普及促進

地区	令和3年度				令和4年度			
	大山	名和	中山	合計	大山	名和	中山	合計
実施回数	16	1	25	42	10	0	27	37
開催地区数	9	1	10	20	4	0	10	14
延べ参加者数	320名				277名			
考察・評価	<p>今年度は職員体制が3人から2名体制で実施した。新型コロナウイルス感染症が拡大し、自粛する集落が相次ぎ減少していた。新型コロナ対策の緩和に伴い、再開する集落も目立ったが、全体で開催地区・実施回数・延べ参加人数は昨年と比べると減少傾向である。</p>							

(2) ふれあい・いきいきサロン世話人研修会の開催

【第1回】

期日・会場	令和4年9月26日(月)(午前) 福祉センターなかやま (午後) 保健福祉センターだいせん
内容	○サロン開催までの流れについて ○ニュースポーツの紹介
参加者数	福祉センターなかやま 15名 保健福祉センターだいせん 20名
考察・評価	<p>感染予防対策のため、2ヶ所に分け開催した。今回は地域自主組織の集落支援員にも案内した。事前にアンケートを実施し、その中であった質問に回答する形で実施。前半はサロン開催までの流れを説明した。後半については、サロンで何をしたいかわからないという意見があり、日本レクリエーション協会公認福祉・レクワーカーの高松由美氏を招き、ニュースポーツの紹介をしていただいた。</p> <p>コロナ禍ではあるが、参加者には実際にレクリエーションを体験していただき、サロンを開催する事の大切さを学んでいただいた。</p>

【第2回】

期日・会場	令和5年3月22日(水) 保健福祉センターだいせん
内容	○サロン開催までの流れについて
参加者数	32名
考察・評価	<p>第2回目は1ヶ所で開催。事前にサロン世話人から意向調査も行った(回答率66%)。高齢や病気、体調不良のため世話人ができなくなったとの回答が目立った。</p> <p>サロンの開催方法について「何をしたいかわからない」、「他の集落が何をしたいか知りたい」という意見もあり、貸出用レク用具を使っての体験や、グループワークを行い、情報交換を行うことでそれぞれ抱えている悩みや不安が解消できたと思われる。</p> <p>今後に向けて、新規開催を検討する地域が増えたと思われる。中には世代交代をしなければならない集落もあり、世話人の育成をして行くための支援が今後も必要である。</p>

9. 家族介護支援事業

(1) 家族介護者交流事業

概要	要介護3以上の要介護者を在宅で介護されている家族介護者を対象としたリフレッシュ事業
期日・会場	令和4年10月25日(火)鳥取県立むきばんだ史跡公園
内容	妻木晩田遺跡巡りと勾玉作り
参加人数	6名(令和3年度 7名)
考察・評価	コロナ対策のため、飲食はなしで半日とした。在宅で介護しておられる家族が少なくなってきたり、参加者も年々少なくなっている。 参加者からは、「近場だったが良かった。」との感想を聞き、日頃の介護の疲れを取ることができたと思われる。

(2) 家族介護教室事業

概要	在宅で介護されている家族を中心に、介護に関する知識や技術の習得、介護者の健康づくりなどを目的とした事業
期日・会場	令和4年11月25日(火)保健福祉センターだいせん
内容	「いつまでも美味しく食べられるように」
講師	ナチュラルハートフルネットワーク とっとり西部しじみ会 (理学療法士1名 作業療法士1名)
参加人数	5名(令和3年度 中止)
考察・評価	今回は「介護食」をテーマに、食事の介護の方法、口腔ケアの方法などの内容で行った。実際にトロミ材を溶かしたり、パン粥の感触を手で確認して頂いた。参加者からは積極的に質問をされるなど、介護の悩みを解消できたと思われる。年々参加者は少なくなっているが、在宅で介護しておられる方のために、継続が必要と思われる。

10. 外出支援サービス事業

	令和3年度		令和4年度	
	延べ利用者数	実利用者数	延べ利用者数	実利用者数
		662	28	539
考察・評価	新規登録があるが、利用に繋がったのが2件のみ。入所や入院、死亡があり、昨年より減少している。			

11. 葬儀用祭壇の貸出実績

種別	中山地区		名和地区		合計	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
仏式祭壇	16	6	19	21	35	27
神式祭壇	0	0	0	2	0	2
合計	16	6	19	23	35	29
考察・評価	<p>大山支所の祭壇は老朽化した上に貸出も少ないため、廃棄処分をし、名和・中山で貸出をした。大山地区の貸出を名和支所で受付し、名和支所が増加した。昨年と比較すると減少傾向。</p>					

12. 福祉バス運行実績

利用団体	令和3年度		令和4年度	
	利用回数	延べ人数	利用回数	延べ人数
町関係	0	0	5	93
社協関係	2	17	1	10
老人クラブ関係	7	78	8	114
身障協会関係	0	0	0	0
グラウンドゴルフ協会	1	14	0	0
その他団体	1	13	0	0
合計	11	122	14	217
考察・評価	<p>昨年と比較するとコロナ禍が落ち着いてきたこともあり利用件数は増加した。しかし、利用の申請はあったが、人数が集まらないためキャンセルになること等のケースが何件かあった。</p>			

13. 福祉センター利用実績

(1) 福祉センターなかやま利用実績

利用団体	令和3年度		令和4年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
大会議室	21	431	24	555
中会議室	11	112	12	81
会長・常務室	0	0	31	82
軽作業室	3	23	8	40
介護者教育室	0	0	6	30
カウンセリング室	0	0	0	0
合計	35	566	81	788
考察・評価	就労準備支援事業で会長・常務室を使用するようになり、件数及び利用者数とも増加した。新型コロナ対策の規制緩和に伴い、集合型研修会等の利用や外部ボランティアによる受け入れによる使用が増え、全体としても増加した。			

(2) 保健福祉センターだいせん利用実績

利用団体	令和3年度		令和4年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
集会室	50	1,160	82	2,140
大会議室	8	125	3	11
中会議室	22	298	9	224
小会議室	22	290	10	226
相談室	15	19	2	10
2階研修室	6	44	4	38
1階研修室	13	55	19	209
調理実習室	5	32	12	101
機能訓練室	59	992	70	924
きゃらぼく室	89	408	66	259
工房	3	23	0	0
合計	292	3,446	277	4,142
考察・評価	6月より施設利用の制限解除を行ったことにより、徐々に利用件数は増加している。しかし、依然としてコロナ禍であるため、利用人数と利用用途確認を行い、感染症対策を十分に行った上での施設利用を促している。			

生活困窮者自立支援事業

1. 自立相談支援事業

(1) 相談の受理及び支援状況

新型コロナウイルス特例貸付の駆け込み需要のため、8月は相談件数が突出して多くなった。9件の新規相談のうち、特例貸付を申請されたのは6件であり、全て貸付決定となっている。11月にも新規相談が集中しており、子供の引きこもりや高齢者の配偶者死去、病気に起因する困窮により早期課題解決が困難なケースが散見された。1月以降の新規相談は少数だが、新型コロナウイルス特例貸付償還開始に伴う問い合わせや生活相談が増加傾向となっている。

【月別相談件数及び支援プラン数一覧】

月	相談件数	新規プラン	月	相談件数	新規プラン	月	相談件数	新規プラン	月	相談件数	新規プラン
		更新プラン			更新プラン			更新プラン			
4月	3	0	7月	1	0	10月	1	0	1月	2	0
		1			0			2			0
5月	2	1	8月	9	0	11月	7	0	2月	2	0
		0			0			0			0
6月	3	0	9月	4	0	12月	0	0	3月	1	0
		0			0			0			0

【相談件数】

相談件数累計	35
プラン累計	4
新規プラン累計	1
更新プラン累計	3

【相談経路】

本人	30人
関係機関	3人
知人・家族	2人
アウトリーチ	0人

【支援内訳】

住居確保給付金	0人
えんくるり事業	2人
フードパートナー事業	0人
生活福祉資金貸付	14人
生活保護	0人

【相談者の属性】

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
	1人	1人	10人	9人	6人	0人	5人	1人	2人
性別	男性	女性							
	18人	17人							

【相談内訳】

相談内容	月別件数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病気や健康・障害のこと	1					2	1	1			1		6
住まいについて					1						1	1	3
収入・生活費のこと	3	2	2	1	8	4	1	4			1	1	27
ローン・税金・公共料金等の支払いについて					4	1	1	1		1		1	9
債務について					2		1	2			1		6
仕事探し・就職について	2	1				1							4
仕事上の不安やトラブル					1								1
地域との関係について													0
家族との関係について													0
子育てのこと			2										2
介護のこと													0
ひきこもり・不登校	1			1	1		1			2			6
DV・虐待													0
食べるものがない				1	1								2
その他								1					1
合計	7	3	4	3	18	8	5	9	0	3	4	3	67

2. 就労準備支援事業

従来の就労準備支援「さくらカフェ」を休止し、今年度から就労支援に特化した事業「一步一步」を展開。上半期終了時点の利用者は1名のみだが、約20年のひきこもり生活から少しずつ脱却して、職場体験も視野に入る段階となった。根気強い支援の成果が出てきている。

【月別支援実績】

月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数
4月	男性利用者 0名	1	7月	男性利用者 1名	4	10月	男性利用者 1名	4	1月	男性利用者 1名	4
	女性利用者 1名			女性利用者 0名			女性利用者 0名				
5月	男性利用者 1名	5	8月	男性利用者 1名	3	11月	男性利用者 1名	3	2月	男性利用者 2名	2
	女性利用者 1名			女性利用者 0名			女性利用者 0名				
6月	男性利用者 1名	5	9月	男性利用者 1名	5	12月	男性利用者 1名	4	3月	男性利用者 2名	3
	女性利用者 0名			女性利用者 0名			女性利用者 0名				
										延人数	43

3. 子どもの学習支援事業

放課後デイへの移行などにより2名の生徒が利用終了となるも、7月と8月それぞれ1名の新規利用者あり、登録利用者数には増減なし。新規利用のいずれも不登校傾向のある生徒であるが、学習支援については休むことなく通われている。また、保護者や学校、SSWとの支援会議を通じ情報共有が円滑となり、その結果として登校の頻度が増えるなど、生活支援としても一定の成果が得られている。

【月別支援実績】

月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数
4月	中学生 1名	10	7月	中学生 1名	8	10月	中学生 1名	15	1月	中学生 1名	9
	小学生 2名			小学生 3名			小学生 2名				
5月	中学生 1名	12	8月	中学生 1名	17	11月	中学生 1名	17	2月	中学生 1名	14
	小学生 2名			小学生 2名			小学生 2名				
6月	中学生 1名	11	9月	中学生 1名	11	12月	中学生 1名	13	3月	中学生 1名	15
	小学生 2名			小学生 2名			小学生 2名				
										利用延人数	152

4. 家計相談支援事業

事業利用者の面談は基本的に月1回実施。生活面や家計の聞き取りおよび状況に応じた助言をおこなった。

【支援実績】

利用者数	3名	支援延回数	26回
主な支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家計管理表(収支シュミレーション)の作成 ・収支状況の聞き取りおよびレシートの確認 ・支出抑制への助言 		

介護保険事業・障がい福祉サービス事業

1. 居宅介護支援事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付	R3	119	114	112	107	105	109	106	102	105	99	102	99	1,279件
	R4	97	104	95	96	97	98	95	96	99	89	89	93	1,148件
予防給付	R3	24	26	26	27	29	28	28	28	30	31	29	33	339件
	R4	28	26	27	28	26	27	27	23	22	21	21	20	296件
ケアマネジメントA	R3	17	18	20	22	22	21	23	22	19	19	16	16	235件
	R4	17	15	14	13	13	13	12	13	18	16	16	15	175件
ケアマネジメントB	R3	8	9	9	9	9	8	11	11	10	10	9	9	112件
	R4	10	10	11	12	12	13	11	12	4	4	4	4	107件
合計	R3	168	167	167	165	165	166	168	163	164	159	156	157	1,965件
	R4	152	155	147	149	148	151	145	144	143	130	130	132	1,726件
考察	人事異動により4月から1人減となったため利用者の件数は減ったが、収益的には特別地域加算を算定できることで報酬が15%割増しとなり前年より収益が増えている。													

2. 訪問介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	R3	94	96	86	73	79	82	102	105	105	85	65	82	1,054回
	R4	75	91	83	74	89	123	112	101	116	103	113	126	1,206回
生活援助	R3	118	117	105	115	103	93	116	120	122	96	124	128	1,357回
	R4	127	121	127	119	115	90	98	103	99	96	104	115	1,314回
身体生活	R3	43	38	38	39	25	36	33	38	34	28	28	33	413回
	R4	28	39	36	35	40	43	34	38	39	29	20	36	417回
総合事業	R3	95	95	113	118	119	119	110	112	118	102	103	127	1,331回
	R4	115	106	118	105	105	99	103	118	91	84	93	98	1,235回
合計	R3	350	346	342	345	326	330	361	375	379	311	320	370	4,155回
	R4	345	357	364	333	349	355	347	360	345	312	330	375	4,172回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (介護)	R3	32	28	27	26	29	28	31	31	32	31	29	29	353人
	R4	30	30	28	27	30	28	28	28	29	27	28	29	342人
実利用者数 (総合事業)	R3	14	15	17	17	18	18	19	20	19	18	19	20	214人
	R4	21	18	21	20	19	18	19	19	17	17	17	15	221人

※令和3年度 1ヶ月あたりの平均利用者数 47.3人

※令和4年度 1ヶ月あたりの平均利用者数 46.9人

考察	入所や死亡等による利用終了はあるも、新規利用者の受け入れを行ない実利用者総数は若干増加。
----	--

3. 支援訪問介護だいせん(障がい福祉サービス事業)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	R3	123	113	118	135	120	123	113	115	108	88	83	58	1,297回
	R4	62	61	60	65	65	58	63	67	60	58	53	55	727回
生活	R3	47	45	45	43	42	42	48	43	43	34	37	34	503回
	R4	35	33	30	35	42	42	44	40	32	36	34	38	441回
合計	R3	170	158	163	178	162	165	161	158	151	122	120	92	1,800回
	R4	97	94	90	100	107	100	107	107	92	94	87	93	1,168回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	R3	14	13	14	15	15	15	15	14	13	13	12	13	166人
	R4	10	10	9	11	11	11	11	10	10	9	9	9	121人

※令和3年度 1ヶ月あたりの平均利用者数 13.8人

※令和4年度 1ヶ月あたりの平均利用者数 10.1人

考察	入院(冬季の季節的入院、体調不良)により利用実績は大幅に減少した。新規の依頼はほぼ無い状況。
----	--

4. 通所介護だいせん

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R3	26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27	310日
	R4	21	22	22	20	23	22	21	22	22	17	20	23	255日
(介護)延べ利用者数	R3	578	523	515	464	466	484	494	487	437	377	379	371	5,575人
	R4	353	392	434	346	433	431	424	434	439	277	324	450	4,737人
(総合)延べ利用者数	R3	94	93	96	100	108	100	106	107	103	82	81	90	1,160人
	R4	84	85	82	84	89	103	88	93	102	65	84	92	1,051人
合計	R3	672	616	611	564	574	584	600	594	540	459	460	461	6,735人
	R4	437	477	516	430	522	534	512	527	541	342	408	542	5,788人

※令和3年度 1日あたりの平均利用者数 21.7人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 22.7人

考察	延べ利用者数は7月にコロナ対応によって休まれる方が多くなってから以降、徐々に回復していたが、1月にコロナ対応、大雪のため5日間休業、2月も3日間休業した。そのため延べ利用者数の大幅な減少がみられたが、3月は回復している。
----	--

【元気アップ教室だいせん(通所型サービスA)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R3	4	4	4	3	1	4	4	4	4	4	4	5	45日
	R4	4	3	5	3	3	5	4	3	4	4	3	5	46日
延べ利用者数	R3	20	19	18	11	5	14	17	17	18	15	14	17	185人
	R4	15	9	13	9	9	14	11	8	12	11	3	18	132人

※令和3年度 1日あたりの平均利用者数 4.1人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 2.9人

考察	3月より3名の新規利用者があり、現在利用者数6名となっている。11、2月は祝日と重なり営業日数が減り、2月は私用のため休まれる事が多く延べ利用者数の減少がみられた。
----	--

5. 支援通所介護だいせん(障がい福祉サービス)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R3	26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27	310日
	R4	21	22	22	20	23	22	21	22	22	17	20	23	255日
延べ利用者数	R3	44	44	42	43	40	38	30	30	31	23	22	18	405人
	R4	8	13	14	14	14	13	13	13	13	8	10	13	146人

※令和3年度 1日あたりの平均利用者数 1.3人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 0.6人

考察	7月に1名入所後は新規の依頼もなく現在利用者数は1名となっている。 1、2月はコロナ対応、大雪のため休業し、延べ利用者数の減少がみられた。
----	--

6. 地域密着型通所介護ほほえみ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R3	22	21	22	22	22	22	21	22	23	21	20	23	261日
	R4	21	22	22	21	23	22	21	22	22	22	20	23	261日
(介護)延べ利用者数	R3	208	200	206	214	197	220	222	247	242	202	186	194	2,538人
	R4	194	215	222	213	212	235	245	231	228	217	223	241	2,676人
(総合)延べ利用者数	R3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
	R4	0	0	0	0	0	0	0	0	32	26	28	48	134人
合計	R3	208	200	206	214	197	220	222	247	242	202	186	194	2,538人
	R4	194	215	222	213	212	235	245	231	260	243	251	289	2,810人

※令和3年度 1日あたりの平均利用者数 9.7人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 10.8人

考察	新型コロナウイルス感染症の流行により、令和4年4月前後は利用を休まれることが多かった。9月前後は、利用回数を増やされた方や、新規利用の方が令和5年3月に2名あり増加した。12月以降は、ショートステイの利用や天候により、休まれる方もあり、減少傾向が見られた。
----	--

【元気アップ教室ほほえみ(通所型サービスA)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R3	9	8	9	12	7	22	21	22	23	21	20	23	197日
	R4	21	22	22	21	23	22	21	22	0	0	0	0	174日
延べ利用者数	R3	19	16	18	18	9	32	31	37	36	29	26	33	304人
	R4	36	41	42	43	48	40	32	32	0	0	0	0	314人

※令和3年度 1日あたりの平均利用者数 1.5人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 1.8人

考察	令和3年度と比べ、若干の利用増があったが、令和4年12月より、元気アップ事業全利用者が総合事業対象者に移行された。令和5年3月時点では元気アップ事業利用はなし。
----	--

7. サポートセンターだいせん

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者相談支援	R3	18	22	20	18	20	18	21	19	17	20	17	18	228件
	R4	19	21	15	20	18	17	21	23	17	17	17	17	222件
障害児相談支援	R3	1	2	2	1	0	2	2	2	2	2	1	3	20件
	R4	3	3	3	5	4	6	6	3	4	4	2	7	50件
請求件数	R3	19	24	22	19	20	20	23	21	19	22	18	21	248件
	R4	22	24	18	25	22	23	27	26	21	21	19	24	272件
一般相談	R3	6	1	2	3	7	7	4	4	2	2	2	5	45件
	R4	2	1	4	1	2	4	3	5	4	1	8	0	35件

考察	令和4年度より相談支援専門員2名体制で実施。計画相談報酬加算が変更となり増額となる。 障がい者の依頼の減に対し、障がい児の計画相談依頼数が圧倒的に増加。放課後デイサービスや児童発達支援利用依頼などが増え、学校を含め関係機関と連携を取りながら支援を行った。 一般相談件数は今年度は相談案件が落ち着いた状況となり、減少傾向となった。
----	--

令和4年度 職員研修及び会議等参加状況報告

【福祉総務課】

	期日	内容	会場	参加者数
1	4月8日	日常生活自立支援事業担当者研修会	オンライン	1名
2	4月19日	自立相談支援機関のサポート事業に関する県と市町村の連絡会	オンライン	2名
3	4月26日	生活福祉資金市町村社協担当職員事業説明会	オンライン	2名
4	5月10日	日常生活自立支援事業第1回内部審査会	福祉センターなかやま	2名
5	5月17日	生計困難者に対する相談支援事業運営委員会	県立福祉人材研修センター	1名
6	5月27日	日常生活自立支援事業支援会議	大山リハビリテーション病院	1名
7	5月31日	えんくるり事業第1回相談員連絡会	オンライン	1名
8	7月4日	生活困窮者自立支援事業に係る担当者連絡会	オンライン	1名
9	7月6日	ひきこもりサポーター養成研修会	オンライン	2名
10	9月1日	家計改善支援事業従事者養成研修	オンライン	2名
11	9月2日	家計改善支援事業従事者養成研修	オンライン	2名
12	9月6日	日常生活自立支援事業第2回内部審査会	福祉センターなかやま	2名
13	9月8日	包括的支援体制整備推進研修	オンライン	1名
14	9月9日	中間的就労支援推進セミナー	オンライン	1名
15	10月14日	包括支援体制整備推進人材育成研修	オンライン	1名
16	10月19日	日本司法書士センター鳥取地方事務所2022年度地方協議会	オンライン	1名
17	11月8日	日常生活自立支援事業第3回内部審査会	福祉センターなかやま	2名
18	12月2日	包括支援体制整備推進人材育成研修	オンライン	1名
19	12月6日	日常生活自立支援事業第4回内部審査会	福祉センターなかやま	2名
20	12月6日	生活困窮者自立支援推進会議	オンライン	1名
21	12月19日	権利擁護セミナー	オンライン	1名
22	12月20日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修テーマ別研修	オンライン	1名
23	1月24日	移動支援セミナー	オンライン	2名
24	1月25日	生活支援コーディネーター研究協議会	オンライン	2名
25	2月6日	長野県移動サービス事例報告会	オンライン	2名
26	3月7日	日常生活自立支援事業第5回内部審査会	福祉センターなかやま	2名
27	3月22日	地域づくり研修会	オンライン	2名

令和4年度 職員研修及び会議等参加状況報告

【介護課】

	期日	内容	会場	参加者数
1	5月13日	第1回大山町居宅介護支援事業所合同研修会	保健福祉センターだいせん	2名
2	6月3日	主任介護支援専門員更新研修(合計9回 6/3~10/22)	オンライン	1名
3	6月24日	2022年度運営指導対策研修	オンライン	4名
4	6月24日	介護専門職研修会(接遇・応対力向上)	オンライン	1名
5	7月7日	介護支援専門員更新研修(合計9回 7/7~9/14)	オンライン	1名
6	7月11日	認知症介護基礎研修	オンライン	2名
7	7月25日	デイサービス事業継続等相談支援(計6回 8/24~12/14)	オンライン	1名
8	9月8、9日	強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	オンライン	1名
9	9月20日	ポジショニングオンラインセミナー	オンライン	3名
10	9月22日	感染症研修(厚労省ホームページより)	オンライン	30名
11	9月22、29日	介護職員のための感染対策マニュアル研修	オンライン	7名
12	9月26日	メンタルヘルス研修会	オンライン	1名
13	10月5日	地域包括支援センター研修会	オンライン	4名
14	10月6、7日	強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	オンライン	1名
15	10月28日	ケアプラン点検	保健福祉センターだいせん	4名
16	11月18日	制度改正・ケアプラン点検データ連携システム研修	オンライン	2名
17	11月22日	スキンケア研修	オンライン	1名
18	11月22日	地域包括支援センター研修会	オンライン	4名
19	12月2日	ケアプラン点検員研修	オンライン	2名
20	12月16日	第2回大山町居宅介護支援事業所合同研修会	保健福祉センターだいせん	2名
21	12月22日	コミュニケーション研修会	オンライン	1名
22	1月13日	認知症研修	福祉センターだいせん	28名
23	1月23日	精神障がい者地域移行、地域定着支援関係者オンライン研修会	オンライン	1名
24	1月23日	福祉の職場で働く看護職員研修会(合計2回 1/23~26)	オンライン	1名
25	1月26日	福祉の職場で働く看護職員研修会	オンライン	1名
26	1月30日	ケアプランデータ連携システム説明会	オンライン	1名
27	1月31日	地域支援セミナー	オンライン	2名
28	2月15日	身体拘束・虐待防止研修	福祉センターだいせん	24名
29	2月24日	稼働率・売上についての研修	オンライン	1名
30	2月27日	精神障がい者地域移行、地域定着支援関係者オンライン研修会	オンライン	1名
31	3月28日	鳥取県相談支援従事者《専門ケース別》研修	オンライン	1名
32	3月9日	市区町村社協介護サービス経営研究会	オンライン	4名

令和4年度 職員研修及び会議等参加状況報告

【その他】

	期日	内容	会場	参加者数
1	4月18日	福祉有償運送講習会	米子自動車学校	1名
2	4月20日	青少年育成大山町民会議「高校生朝のあいさつ運動」	大山口駅	1名
3	4月21日	第1回大山町地域公共交通会議	オンライン	1名
4	4月28日	令和4年度鳥取県地域包括ケア推進セミナー	オンライン	2名
5	5月12日	大山町人権尊重の社会づくり審議会	大山町人権交流センター	1名
6	6月15日	青少年育成大山町民会議総会	書面審議	1名
7	6月28日	交通安全研修	大山支所	37名
8	7月21日	大山町人権尊重の社会づくり審議会	大山町人権交流センター	1名
9	8月2日	市町村社会福祉協議会管理職研修会(1日目)	オンライン開催	6名
10	8月7日	安全運転鉄人コンテスト参加(8/7~1/6)		48名
11	8月17日	社会福祉法人労務管理研修会	県立福祉人材研修センター	1名
12	8月30日	市町村社会福祉協議会管理職研修会(2日目)	オンライン開催	6名
13	9月15日	安全運転管理者講習	米子市文化ホール	1名
14	9月26日	職員面談(キャリアアップ 9/26~11/29)		7名
15	9月27日	安全運転管理者研修	湯梨浜町アロハホール	1名
16	10月4日	青少年育成大山町民会議「高校生朝のあいさつ運動」	大山口駅	1名
17	10月12日	職員研修(キャリアアップ①)	保健福祉センターだいせん	27名
18	10月25日	職員研修(キャリアアップ②)	保健福祉センターだいせん	24名
19	11月29日	職員研修(プライバシー保護、コンプライアンス)	大山町人権交流センター	24名
20	12月1日	大山町人権尊重の社会づくり審議会	大山町人権交流センター	1名
21	12月19日	大山町議会傍聴	大山町役場本庁	3名
22	1月9日	初区長会	保健福祉センターなわ	2名
23	2月10日	労働基準監督署事業場訪問	保健福祉センターだいせん	2名
24	2月16日	大山町地域福祉計画、地域福祉活動計画策定委員会	保健福祉センターなわ	2名
25	3月7日	職員健康指導会	保健福祉センターだいせん	24名
26	3月20日	職員研修(人権)	保健福祉センターだいせん	26名
27	3月23日	大山町人権尊重の社会づくり審議会	大山町人権交流センター	1名